

第1回

DX実現のためのAI、IoTの活用と 産学連携による社会実装および人材育成

Society5.0の実現および持続可能な開発目標(SDGs)への関心が一層高くなっており、インクルーシブな社会の実現が求められています。Society5.0の実現には、AI・IoTなどICTを活用したDXが必要となります。

本セミナーでは、DX実現で重要となる「人」「もの」「情報」等を上手く融合する人中心のインターフェース・コミュニケーションの在り方に焦点をあて、金沢市市民生活AI技術等促進事業での社会実装の取組と産学連携による研究開発・人材育成の取組を紹介いたします。



日時 2021年 **11**月 **4**日(木) 14:00~16:30

会場 Zoomを利用したオンライン配信

対象 ものづくりに携わる企業・個人事業主、
研究開発機関、行政機関等の方 30名

※本市または本市近郊に事業所がある方が対象です。

参加費
無料

DX実現のための 産学連携のそれぞれの役割

第1部

講師

松井 くにお 氏

(金沢工業大学 工学部情報工学科 教授)

社会や企業のDX実現のため、AIやIoTの活用が盛んになっていますが、導入の費用対効果や人材不足等の様々な問題が生じています。これらの問題を解決するための産学連携の二つの事例と成功に導く役割分担を紹介します。

人とモノの新しいコミュニケーションを産学連携で探る

第2部

講師

高筒 正義 氏

(株式会社別川製作所 企画開発室 室長)

AIやIoTの活用に欠かせない「つなげる」「つながる」の1つのツールとしてスマートフォンがあります。そのスマートフォンをDX実現の1つの鍵として、現場の効率化や改善に活用していく検証事例と共同研究を紹介します。

講師プロフィール

松井 くにお (まつい くにお) 氏

金沢工業大学 工学部情報工学科 教授

静岡大学工学部情報工学科卒。株式会社富士通研究所入社。東京工業大学大学院情報理工学
研究科後期課程修了。富士通(中国)研究開発中心(兼務)、Fujitsu Laboratories of America,
Inc.の海外勤務を経て、ニフティ株式会社にてサービスビジネス開発を推進。
静岡大学創造科学技術大学院特任教授(兼務)を経て、2017年2月より金沢工業大学教授。
専門は自然言語処理、情報検索、情報分析等の人工知能に関する研究開発。

高筒 正義 (たかんど まさよし) 氏

株式会社別川製作所 企画開発室 室長

1988年4月 株式会社別川製作所に入社。システム営業部にてソリューション営業として、
お客様へのシステム提案業務に従事。2019年度から企画開発室にてAI・IoT技術を活用した
DXの実現に向けた企画開発業務に携わり、産学連携からお客様との実証実験を進めている。

「先端ものづくり技術交流セミナー(第1回)」参加申込書

企業名			
所在地	〒		
TEL			
参加者	役職	氏名	E-mail

※お申込みいただいた方には、今後、金沢市からセミナー等のご案内を差し上げる場合がございます。

- 申込方法 : E-mail または FAX(076-260-7191)にて
お申込みください。
- 申込先 : 金沢市産学連携事業運営委員会事務局
金沢市商工業振興課 担当 山田
TEL:076-220-2205
FAX:076-260-7191
E-mail:syoukou@city.kanazawa.lg.jp
- 申込締切 : 令和3年11月1日(月)

詳しくは、Webサイト

「金沢市産学連携
ネットワーク」

をご覧ください。



金沢市産学連携ネットワーク

検索